

平成30年度広島県道徳教育研究協議会(第1回)
報告
「みらさか学園の取組、授業のポイント等」

三次市立三良坂中学校
 教諭 平田 剣士郎



報告の流れ

- 1 みらさか学園の概要
- 2 みらさか学園の取組
- 3 今年度の改善・充実
- 4 本日の授業のポイント

施設一体型小中一貫教育校
 みらさか学園 キヤッチフレーズ
「きらめけ！みらさか」
 ～挨拶・姿勢・一・生懸命・思いやり～






よりよく生きる「根っこ」を育てる

1 みらさか学園の概要

みらさか学園について

平成27年度開校
三次市内唯一の施設・体型小中一貫教育校



2 みらさか学園の取組

(平成29年度)

三良坂中学校校区の指定

「道徳教育改善・充実」総合対策事業
【メニュー2】
小中連携による道徳教育の充実・発展に係る取組



小中全学年の「道徳の時間」をT.Tで実施

開校当初よりの課題

小学校 児童間トラブル
中学校 学校規模に対して多い
不登校生徒の割合

克服のために…

自己有用感 と **思いを伝える力**

研究主題

自己を見つめ
よりよく生きようとする力を育む道德教育
～小中をつなぐ主体的・対話的で
深い学びの授業づくりと評価を通して～

「考え、議論する道德」
に即した授業づくり

道德の時間と体験的な
学習活動等との関連

他者・集団とのつながり

道德学習プログラム「レインボープログラム」

プログラム全体テーマ
中心となる教科・領域

Aの内容項目
の教材
【自分】

Cの内容項目
の教材
【集団・社会】

Bの内容項目
の教材
【他者】

プログラムを通して期待する児童生徒の意識変化

みらさか学園で目指す資質・能力

価値理解
【知識】人間理解
他者理解

【スキル】
対話力

【意欲・態度】
主体性

自己を見つめ
多面的・多角的に
よりよく生きようとする力

自己の生き方に
ついての考えを深める

何を学ぶか
各内容項目 + 重点内容項目
A希望と勇氣、努力(克己)と強い意志
B思いやり、相互理解・寛容
C郷土愛・地域貢献 D生命尊重

どのように学ぶか
主体的・対話的で深い学び
(授業)

主体性・対話力

道德ノート

- ・小中全学年統一
- ・9年間の発達の段階を見通し、
「指導段階表」を作成




指導と評価の一体化

【道徳ノートを活用した授業評価】

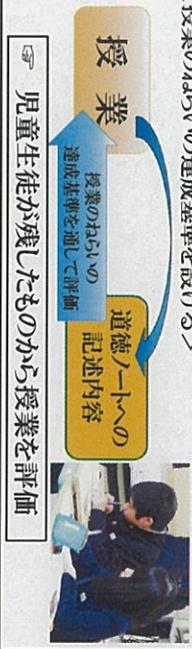
これまでの研究協議...

時間が...



授業のねらいを達成できたかどうか分かりづらい
道徳科の評価に向けて不十分では？

<授業のねらいの達成基準を設ける>



授業評価(研究協議)

授業実施

授業改善

UMP
主眼の授業と
ねらいの達成度をあきらかに
して評価の観点から
後継の授業に
活かす。

0人
5人
6人

授業ねらいの達成基準を設けて評価

授業のねらいの達成基準を設ける

児童生徒が残したことから授業を評価

記述をもとに協議

強にけいふに、知
ちのから、時
ること、時間か
て、自分の未来
中、困難があ
変、二、向
い、の、シ
来、の、シ

ねらいの達成基準

教材名「風に立つアゾン」A希望と勇氣、克己と強い意志

より高い目標の実現を目指して、アフリカでの困難な医療活動に従事する青年医師の生きる姿を通して、目標の実現には困難や迷いを乗り越えていく希望と勇氣が必要であることに気づき、自らが正しいと思うことをやり遂げようとする道徳実践意欲と態度を養う。

Hop(基本的理解)	Step(主観的理解)	Jump(客観的理解)
教材内容の理解	道徳的価値への気づき	自己(人間)の生き方についての考えを深める
より高い目標の実現を目指して、アフリカでの困難な医療活動に従事する青年医師の生きる姿を通して、目標の実現には困難や迷いを乗り越えていく希望と勇氣が必要であることに気づき、自らが正しいと思うことをやり遂げようとする道徳実践意欲と態度を養う。	目標の実現には困難や迷いを乗り越えていく希望と勇氣が必要であることに気づくことができる授業であった。	自らが正しいと思うことをやり遂げようとする道徳的実践意欲と態度を養うことができる授業であった。

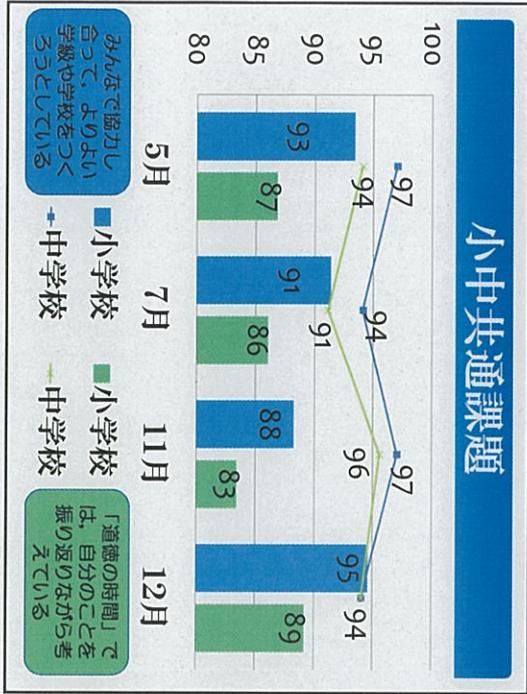
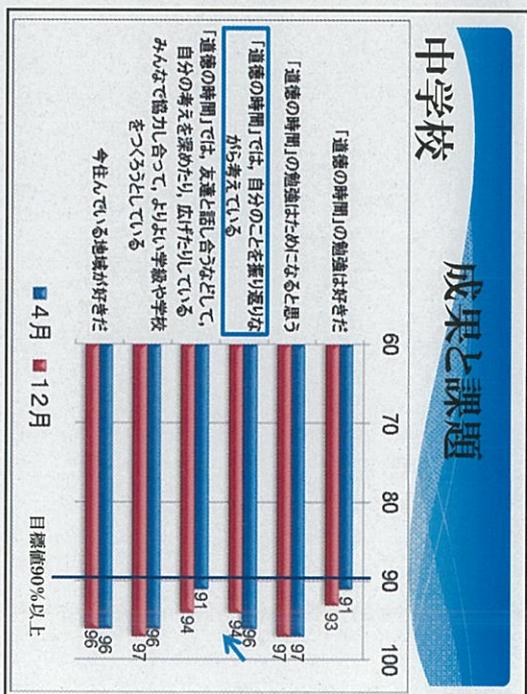
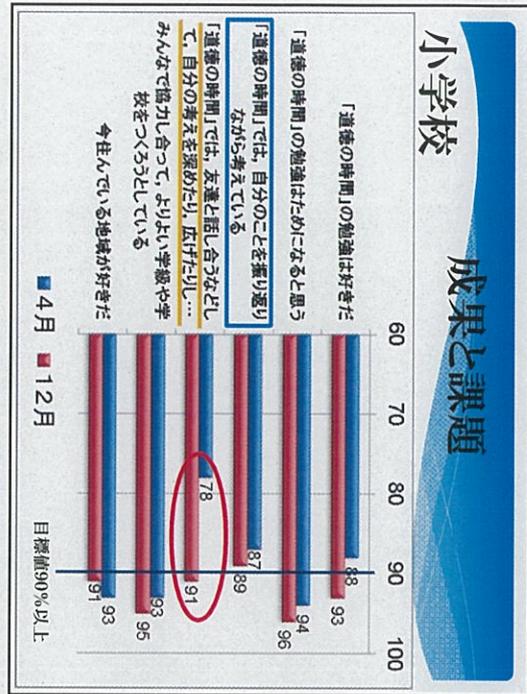
研究協議方法の成果と課題

【成果】

- ねらいを授業の評価規準とする
- ねらいを大切にしたい授業づくりへ！
- 児童生徒の姿から評価
 - ☞ 日々の児童生徒の成長への気づきに！
 - ☞ 指導者から成長を認め、励ますコメントを！

【課題】

- 記述内容の分類が目的ではない
- ☞ 「どうすれば授業が、よりよくなったのか」を考える



要因

(1) 道徳学習プログラムの定着
 指導者、児童生徒の共通認識に基づく計画的、発展的な指導

(2) 主体的・対話的で深い学びに向けた指導
 深い学びの姿とは？

評師の視点(組織的に)

- 道徳的諸価値についての理解
- 自己を見つめられていたか
- 物事を多面的・多角的に考えられていたか
 - ・一つの事象を多様な側面から考える
 - ・多様な角度に向かって考える
- 自己の生き方について、考えを深められたか

道徳科の目標をもとに評価

評師の工夫・改善

- Q1 子どもに成長を実感させ、意欲の向上につながる評師って
どうすれば？
- D0 所見を読んだ子どもが「この時の授業はよく覚えている！」と思えるように、一定の期間で道徳の時間の振り返りを行う。
- Q2 一時間ごとに評師のためにメモをしておくのはすごく大変・・・
- D0 道徳ノートにコヤトを書ぐ際に、少しでもよいので、評師の1つの視点を念頭に記述していく。それが、学期末等の評師に結び付く。
- Q3 子どもの実態と振り返り内容が大きくかけ離れている場合は、どうすれば・・・
- D0 まずは、授業改善。
考えなくても答えられる発問から、自分の内面と向き合えるような発問、「はっ」とする発問や問い返しにより、自分を見つめ直す発言や記述が見られてくると考えられる。

評師への自信

校内研修(小学校)

ドレゾの友達	授業題目/友達・信頼	視点	分類
友達でもお互いではない部分も必ずある。友達に強くなることでよいことある。正しいとは正しいと思っただけで、中身が、中身が必ず本物の友達になれると思いた。		価値理解 自己探求 多面的・多角的な考え 自己の生き方について	正しいことを正しく言っただけで中身がない。互いの違いを認め、強いついては自分多面的に知らない部分がある。生き方 本物の友達になれる→ない。
価値理解	正しいと思うことを伝えたいから、友誼を深めていくことが出来る。		
自己を見つめる	自分は友達に強くなりたいから、正しいことを伝えることに気付いた。		
多面的・多角的な考え	友達でも自分から知らない部分があることに気付いた。		
自己の生き方について	知らない部分を知りたい。本物の友達関係を築きたいと思っただけでなく、		

次年度に向けてやってみる(中学校)
通知票に評価欄を設ける

みらさか学園で考える「深い学び」の姿



「気づき」

を大切にする授業

大切なことに

4 本日の授業のポイント

今日の授業のポイント

小学校4年生

「心と心のあく手」

新しい親切の形に気づけるように
ぼくの行動を比較する

今日の授業のポイント

小学校5年生

「友のしようぞう画」

積み重ねと互いの信頼に基づく友情
に気づけるように
主人公の心情から価値へ高める

今日の授業のポイント

中学校3年生

「二人の弟子」

自分を成長させるヒントに
気づけるように
事前の意識調査の生徒実態を生かす

